

項目		説明
試料・情報の	研究課題名	Clinical N0 の進行胃癌に対する幽門側胃切除時の D2 郭清の意義について
利用目的 及び	研究対象者	2000 年 1 月から 2022 年 12 月までに術前にリンパ節転移がないと診断され、神奈川県立がんセンター胃食道外科で根治的幽門側胃切除術を受けた方。
利用方法	研究目的	臨床的にリンパ節転移がないと術前に診断された進行胃癌患者に対して幽門側胃切除時に D1+郭清が適応されうるかについて検討する
	研究方法	リンパ節の転移率と郭清効果指数、短期成績・長期成績の臨床データを用いて縮小手術が適応しうるかを検討する。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西 暦 2 0 2 5 年 1 0 月 2 0 日 ～ 西 暦 2 0 2 7 年 3 月 3 1 日
	利用又は提供を開始する時期	[☒]総長が研究実施を許可した日 [☐]西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[☐]試料:	[☐]血漿、[☐]血清、[☐]全血、[☐]末梢血から抽出した DNA、 [☐]病理検体(具体的に記載: _____)、 [☐]尿、[☐]糞便、[☐]唾液、[☐]胸水、[☐]腹水、[☐]脳脊髄液、 [☐]毛髪、[☐]その他(具体的に記載: _____)
	[☒]情報:	[☒]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[☒]年齢、[☐]生年月日、[☒]性別、 [☒]既往歴、[☒]併存疾患、[☒]外来日・入院日・退院日、[☒]臨床検査値、[☒]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[☒]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[☐]ゲノムデータ、[☒]看護記録、[☐]その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 消化器外科 胃食道外科 長澤伸介
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口		神奈川県立がんセンター・消化器外科 胃食道外科・長澤伸介・ 045-520-2222 利用停止のお申し出は 2026 年 3 月 31 日までお願いいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータをで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります